

磐城時報

福島縣石城郡平町編組町十四
印刷兼發行所 岡田弘成
印刷所 石城郡平町編組町十四
福島縣石城郡平町編組町十四
電話 二四三
廣告料 一月十圓 三月三十圓 半年六十圓 一年一百圓
代金 郵費 送料 別計
日刊(日曜、祭日)休刊

職業指導デーに 平紹介所の催はし

関係小學校長會を開き 具体案を決定

平職業紹介所では二十三日午前、性能検査實施の件
十時から平町マルトモホールで
關係十四校の少年職業紹介事務
打合せを開き左の三件について
協議したが、二十五日から七日
間全國一齊に施行される全國職
業指導デー週間の催はしとし
て關係各學校では夫々講演を行
ひ尋常六年以上の生徒について
希望職業並に進學の調査を行ふ
事になった。而して又紹介所と
してはポスターを貼り職業指導
心得を配布し、文部大臣の講演
要旨を印刷にして配布し趣旨徹
底を期する筈である。二十三日
の協議事項左の如し

戸數割町會

平町會は二十五日午後一時開會
し左の諸件について協議する。
一、昭和七年度平町特別税戸數
割賦課決定の件
一、昭和七年度平町歳入追加
更正豫算の件
一、小學校教員死亡給與金給與
の件
一、昭和七年度特別會計水道給
水事業費流用の件
一、營業取締所支所敷地無償貸
上の件
一、寄附採納の件
一、區長推薦の件
一、鑛業採掘願に關する諮問の
件

滿洲視察の 兩縣議歸る

滿洲を視察中であつた縣會議員
井上茂作、野崎滿藏の兩氏は二
十四日午後四時三十八分平驛着
て無事歸平した。

調査をやり直したが 該當者増加せず

平町の多額納税議員互選

平町に於ける多額納税議員互選
資格者は既報の如く六月一日現
在で直接納税六百圓以上の納付
者諸橋久太郎、山崎興三郎、百
澤易與、堀江正茂の四氏が該當
者と決定縣に報告したが、縣で
は定員に不足したので二十三日
更に五百圓以上の該當者につ
いて調査を行った右四名以外は一
名もなかつた。

理髮台合格証傳達

平警察署では左の本年度理髮試
驗合格者に合格証を傳達交付し
た。

平町 大方房吉、佐藤四郎、 永山民子、相本ツヤ子、菅野 武夫、酒井とく、金成キヨ、 新妻ツキ、鈴木ヨシエ、矢内 ツヤ子 内郷村 寒河江ちとせ、新倉 ウメノ、植田務平、三浦フチ エ、箕輪義彦 豊間村 矢部愛子、佐藤幸四 郎 小名濱町 小山光義、松本イ サヲ 好間村 根本サイ子、佐藤ミ サヲ

赤い小瓶が危険

子供が喜んで飲む 飲料物の特別執行

平警察署では二十三日調査全部の町會は廿二日終了したが、
を召集し平町内清涼飲料物販賣 賦課額三万三千四百七十三圓、
店の不良商品の検査を執行した戸數千六百七十戸で一戸平均廿
が、不良品として廢棄を命じた圓四錢となり所得百圓に對し百
もの平町極端小路森田マツ、外圍四十六錢九厘六毛を賦課する
九十六名で、内譯は
レモン水八十四本、ミカン水
三十九本、ラムネ六十九本
同小百五本、サイダー卅六本
で更にビール四本、酒等検査し
た處仲間町佐藤留次郎方のサツ
ポビール十八本、サクラビー
ル五十本、大工町櫻井清信方の
日本酒十二本が混濁變質してゐ
たので平署に沒收した、向は一
般で最も注意を要するのは色を
つけた砂糖水に果實水を注いで
作るリモナーデといふ小瓶は小
供が喜ぶか之は製造後二三日で
腐敗し之を飲むと疫病等に罹る
おそれがあるものだが、検査の
結果百本の腐敗物があつたので
廢棄を命じた。

曾我校長 高等官になる

平第一小學校長曾我直治氏は八
月十五日から施行される小學校
教員優遇法により高等官六等と
なつた。

逃走酌婦 四倉で捕はる

東京府下北豊島郡寺島町飲食店
關根方酌婦岩手縣水澤町生れ
佐々木ハツ子(二)は去る十日
前借九十圓を踏み倒して逃走し
四倉町に潜伏中を二十三日四倉
署に捕はれた。

小川江筋の改修 愈々縣會に提案

六十日間に亘つて實査し 改修方法を決定

石城郡四倉町外六ヶ村二千二百村では兼て江筋の改修方を縣當
余町歩に灌漑する小川江筋は年局に迫つてゐるが、去る九日縣
々災害のため修理費一萬圓を耕地課堤技師出張詳細調査す
要するので負擔に苦しむ關係町る所あつたがその結果愈々工費

蘭市場況

四倉市場
白蘭一六五八貫、最高二六六
圓五十五錢、最低二十圓二十錢
平均二十五圓十錢(二十一掛)
平町新川町三十一番地柴田市呼び出し保護者として處罰した
太郎長男重太郎(二〇)は未成年
者であり乍ら公然と煙草を吸つ
てゐるので二十四日父市太郎を石城郡小名濱町の戸數割賦課決

未成年の喫煙で 父親が處罰される

平町新川町三十一番地柴田市呼び出し保護者として處罰した
太郎長男重太郎(二〇)は未成年
者であり乍ら公然と煙草を吸つ
てゐるので二十四日父市太郎を石城郡小名濱町の戸數割賦課決

小名濱の戸數割

平第一小學校長曾我直治氏は八
月十五日から施行される小學校
教員優遇法により高等官六等と
なつた。

湯本の火事

湯本町の火事 二十二日
午前十一時三十分頃湯本町天王
崎一番地良助妻下山田ヨウ(四
七)は自宅物置で、ついで用の
石油罐へ火を焚き付けそのまゝ
用事に出た所傍にあつた木屑に
火は燃え移りあはや大事に至ら
んとしたのを煙に驚いて駆け付
けた附近の者が消し止めた。

客をとれ...と迫られ 堪え兼ねたカフエー女給

平署に廢棄を願ひ出づ

灸術を行ふ

無免許で

酌婦の搜索願

本籍

讀者論談

投稿 歡迎

青年諸君へ

(五) 四倉町 吉田松雄
 金、名譽、地位、それらも決して青年の希望にも思ふものではない、釋迦、キリストを志す念願も勿論い、行雲流水に身を任せる芭蕉や西行法師の跡を慕ふも亦可なりである。併し聖哲の語に「天才は努力の賜なり」とあつても、鳥の羽根を純白の羽二重で幾千年磨いても決してそれは驚の羽根のやうに白くならぬ。人間は斯ふ了らぬ比喩の中からは真理を發見せねばならぬ。人間は生れた時から各人各様の特質を必ず有つて生れてゐる、そして皆その特質によつて人間としての生存の目的も使命も、價値も必ず異なるのである。
 雁も飛ぶ、鳩も飛ぶでは一つ己もといふたてて龜は決して飛べはしないのだ。
 諸君には諸君としての特質が造物主から恵まれて居るのだ。俺にも俺の特質があるのだ。此の特質は他人の絶対に真似の出来ない特質である。その特質が如何なるものであるかを自分で發見することが人間として第一に必要なことである。その特質を發見することに依つて諸君自身は何物かを求めねばならぬか、判明することになる。
 それによつて青年の若い血汐若い筋肉、若い生命は最も經濟的に有効に諸君に活用せらるゝのである。斯くして青年諸君の生涯には悔恨がない。衷心からその生活は莞爾なものに常に満ち、その諸子の生存に最も優れたる意義と價値が生ずることになるのである。
 2、思索の力
 純真と正直がその全部です。この不純も不正直もないのが

現在の諸子で、それが君の思性の特に造物主から授つた賜である。
 明鏡のやうな曇らない諸子の現在の精神で以て森羅萬象のことを思索することは最も人間として立派なことだ、美しいことだ。價値あることだ、意義のあることだ。第一義だ。若い純真な心の持ち主である諸子の思索は總て諸子の前途に幸が来る。光明を投げ與へる、そこに君の明るい人生が展開されるものである。
 人間が他の動物に對して誇り得るものは、人間が火を發明した事だ、道具を發明して使ふことだ、宗教心のあることだ。自ら稱して萬物の靈長といふてゐるが、それは神が人間を發見した言葉でないのは勿論人間自身の所謂自畫自賛である。若し強ひてこの靈長といふ言葉を肯定せうと思へば、人間が火を發見した、道具を發見したのと同じ、宗教心の賜である。それは人間思索の賜である。

例年の通り

氷水 始めました

多少に拘らず御用命御引立の程願上します。

特製
 アイスクリーム(山盛) 金十錢
 あつきアイス(同) 金五錢
 ミルクケーキ(同) 金十五錢
 リータ水 金十錢

其他氷水各種
 出前迅速

平町一丁目

藤寅

電話一四二番

内科 専門 腸胃科
 十二指 虫腸病 腸胃病
 婦人病 淋病
 皮膚病 専門
 院醫科村松
 (七〇一話電) 町南町平

鼻の薬 チクノール
 平五 山野邊藥局
釜屋商店
 迅速と廉價
 印刷物は 加納活版所

氷水 始めました
 蒲鉾製造販賣期間中は多大の御引立に預り厚く御禮申上げます。今回例年の通り氷水及アイスクリーム其他氷加工清涼飲料物の製造販賣を開始致しましたから多少に拘らず御用命御引立の程願上します。

例年の通り味は百パーセント
 ▼アイスクリーム 十錢
 ▼アツキアイス 五錢
 ▼水 豆 八錢
 ▼ミルクケーキ 十五錢
 その他一切……出前迅速

平町字一丁目 藤市
 電話三〇五番

氷の御用は
 電話四六七番へ
 勿來製氷會社一手販賣
 平二丁目 警察署通り 魚清水卸部
 支店 江名濱築港内 電話六十九番

正札堂の……夏服
 黒セルセビロ 上下 六圓ヨリ
 パンビスセビロ 上下 八圓五十錢ヨリ
 ポーラーセビロ 上下 九圓ヨリ
 ポーラー最上品 三ッ組 十八圓五十錢
 白ズボン 七十五錢ヨリ

正札堂洋服店
 電話四三六

難波醫院
 醫學博士 難波 睦
 平町大町新川端
 電話(五〇二番)

強力殺虫殺蛆液
 (うじ殺し薬)
 ペトリン 一瓶五十錢
 ▼超強力にして發火の憂なく廉價使用簡易
 ▼便所、塵芥箱、床下、下水等に三十倍に溶解して撒布

平町字四丁目
 特約店 小野藥店
 電話百四十四番

生花教授
 家元龍生派池坊
 生花、盛花、投入、自然
 營業では御座いません趣味で御相手致し度うございます
 平町仲町三
 華道教授 天水庵 岡田華悦

病室完備 平町南町
 専門 X光線科
 上田外科醫院
 電話一二九番

吉田眼科病院
 平町紺屋町 電話六八番